

# 10代女性への 脳死肺移植終了

岡山大病院

岡山大病院（岡山市北区鹿田町）で10代女性への脳死肺移植手術が1日、無事終了した。順調なら約3カ月で退院できる見込み。

臓器移植医療センターの大藤剛宏教授が執刀。両肺を移植する手術が11月30日夕方始まり、約7時間後の1日午前0時35分に終わ

った。女性は気管支が細くなり呼吸困難となる閉塞性細気管支炎を患い、201

4年2月に日本臓器移植ネットワークに登録していた。ネットワークによると、

ドナー（臓器提供者）は低酸素脳症で入院していた宮崎県在住の10歳以上15歳未満の男児。15歳未満の脳死判定は9例目で、岡山大病院での移植手術は心臓、肝臓を含めて4例目。

女性の両親は、女性が11歳であることを明らかにし「1日は娘の誕生日。かけがえのないプレゼントになりました。ドナーのご家族を思うと胸が痛みますが、臓器提供してくださった方の分まで娘には生きてもらいたい」とのコメントを出した。

岡山大病院の脳死肺移植は68例目、生体と合わせて146例目。（大橋洋平）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。